

ジョルジュ・サンド生誕二百年記念シンポジウム

—ジョルジュ・サンドの二十、二十一世紀への遺産—



ジョルジュ・サンドの肖像画

主催：日本ジョルジュ・サンド研究会 ジョルジュ・サンド国際シンポジウム 2004 大会実行委員会

共催：日仏会館 日仏音楽友の会 (AFJAM)

後援：在日フランス大使館 東京日仏学院 朝日出版社 駿河台出版社 第三書房

協賛：日仏女性研究学会

※ 入場無料

※ 24日(日) 午後の「総括と討論」のみ同時通訳付

※ 他の発表については通訳無し (翻訳テキストを配布)

●10月23日(土)

10:00 開会の辞 日仏会館館長 フランソワーズ・サバン
フランス大使館文化担当官 ピエール・クストー

A. 10:15~12:00

アンガージュマンとしての小説の技法 フランソワーズ・ヴァン・ロソム＝ギュイヨン
ジョルジュ・サンド、19世紀女性知識人—作品を通してみる思想 西尾 治子
『アンディアナ』におけるイギリス趣味と政治性 石橋 美恵子
(休憩)

司会：秋元 千穂

B. 13:00~14:10

ジョルジュ・サンドと映像—サンドの人生と作品を映像化した映画とビデオ作品 アンヌ＝マリ・バロン
ロマン主義時代の出版文化と『挿絵入りジョルジュ・サンド作品集』 平井 知香子
(休憩)

司会：坂本 千代

C. 14:20~15:30

ジョルジュ・サンド、芸術と偶然—ペンと絵筆 ニコル・サヴィ
『ローラ』における色彩と芸術家 高岡 尚子
(休憩)

D. 15:45~17:45

ジョルジュ・サンドの作品に見られる“naïf”の概念 渡辺 響子
ジョルジュ・サンドの作品におけるモーツァルト—『わが生涯の記』『デゼルトの城』『ファヴィラ先生』 坂本 千代
ジョルジュ・サンドにおける女性芸術家小説—政治と美学 ベアトリス・ディディエ
(休憩)

司会：高岡 尚子

E. 18:00~18:30 コンサート

♪モーツァルト：「魔笛」より抜粋 (バイオリンとフルートのために)

バイオリン：マルグリット・フランス、フルート：東大輔

♪ショパン：メロディー (ポーランド語付き) ソプラノ：石井恵子、ピアノ：塚越弘子

♪パガニーニ：「バイオリンとギターのためのソナタ」

バイオリン：マルグリット・フランス、ギター：東大輔

♪ドップラー：「リギー山の思い出」 (フルート、フレンチホルン、ピアノのために)

フルート：東大輔、フレンチホルン：末広一俊、ピアノ：塚越弘子

♪モーツァルト：バイオリンとピアノのための「ソナタ」 (ホ短調)

司会：マルグリット・フランス

バイオリン：マルグリット・フランス、ピアノ：塚越弘子

●10月24日（日）

F. 10:00～12:00

ピエール・ルルーの弟子サンドの考える諸世代の連鎖ー『コンスエロ』と『わが生涯の記』から

司会：西尾 治子

ブリュノ・ヴィヤール

ジョルジュ・サンド、政治に参加した女性ー1848年二月の日々

持田 明子

『黒い谷』における民衆像

稲田 啓子

（ 休憩 ）

G. 14:00～16:00

ジョルジュ・サンドにおけるクルチザンヌ像：イズイドラ

村田 京子

ジョルジュ・サンドの『祖母の物語』における女性の問題

秋元 千穂

芸術と政治のあいだでー『ある旅人の手紙』の時（1834ー1837）

ジョゼ＝ルイス・ディアス

（ 休憩 ）

H. 16:30～18:00 コロックの総括と討論

パネリスト：アンヌ＝マリ・バロン（バルザック友の会副会長）

ジョゼ＝ルイス・ディアス（パリ第七大学教授）

フランソワーズ・ヴァン・ロソム・ギュイヨン（アムステルダム大学名誉教授）

ベアトリス・ディディエ（高等師範学校教授）

ニコル・サヴィ（パリ第三大学所属兼ジャック・ドゥーセ文学図書館担当官）

ブリュノ・ヴィヤール（エクサンプロヴァンス大学教授）

閉会の辞 大会実行委員会

問い合わせ：西尾 治子 harukon@fa.mbn.or.jp

パトリック・レボラール berlol@inter.net

23日のコンサートに関しては日仏音楽友の会までお問い合わせ下さい : info@afjam.org